

令和8年度

職業訓練指導員講習（48時間講習）のご案内

香川県職業能力開発協会

職業訓練指導員免許は、公共及び認定の職業訓練施設で訓練生を指導する指導員に必要とされる資格ですが、企業内における部下の指導や後継者育成のための技能継承を円滑に行うためには、この職業訓練指導員の資格は充分役立つものと思われます。

この講習は、職業訓練指導員として必要な指導・訓練方法等の能力を短期間に習得してもらうために、職業能力開発促進法に基づいて実施いたします。

講習各科目を履修し、所定の講習を良好な成績で修了した方には、講習修了証書を交付します。

講習修了証書交付者は、本人の申請に基づき都道府県知事から「職業訓練指導員免許証」が交付されます。

1. 講習日時

令和8年6月1日（月）・2日（火）・10日（水）・11日（木）
15日（月）・16日（火）（6日間） 8時30分～17時

2. 講習会場

地域職業訓練センター
高松市郷東町587-1 電話(087)882-2854

3. 定員

10名（先着順 定員に達し次第締切ります。）

4. 受講料

一般 29,040円（消費税込み）
会員 24,200円（消費税込み）
別途、テキスト代（4,620円）が必要です。

5. 講習内容

科 目	時間数	内 容 の 説 明
職業訓練原理	4	職業訓練の沿革、意義、目的、職業訓練の担当者等
教科指導法	16	訓練実施計画、指導の準備・進め方、教材の活用、訓練評価等
労働安全衛生	3	安全管理、安全の確保、衛生管理、衛生と作業環境等
訓練生の心理	7	訓練生の選抜・特質の理解・技能の習得・訓練生の扱い方等
生活指導	6	生活指導の分野・方法等
関係法規	4	職業能力開発促進法、職業安定関係法、労働基準関係法等
事例研究	6	作業分解、指導等、訓練実施計画、指導記録等の事例研究
確認試験	2	

6. 受講資格

職業訓練指導員講習を受講するには、別表1「受講資格及び提出書類一覧表」で示す1～22の受講資格のいずれかを満たし、それぞれの経験年数を満たしている方に限られます。

1. 番号2～5は免許職種に関する学科を修めた者に限る
2. 番号6～22は免許職種に関する訓練を受けた者に限る
3. 次のいずれかに該当する方は受講できません。

- イ 精神の機能の障害により職業訓練指導員の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- ロ 禁錮以上の刑に処せられた者
- ハ 職業訓練指導員免許の取消しを受け、当該取消しの日から2年を経過しない者

*番号1の技能検定合格者以外の受講資格については、審査に時間を要しますので、事前にお問合せください。

7. 受講の手続き

- (1) 受付期間 令和8年4月1日(水)～令和8年4月24日(金) 郵送の場合、締切日消印有効
- (2) 提出書類(別表1「受講資格及び提出書類一覧表」を参照してください。)
 - ア 受講申込書(申請前3ヶ月以内に撮影した上半身正面、脱帽した写真〔縦4cm＊横3cm程度〕を1枚、裏面に氏名を記入して所定欄にはりつけてください)
 - イ 職歴証明書(職歴証明書の証明者欄に、事業所の長の場合は1人、同業者の場合は2人の証明を受けてください。但し1級・単一等級技能検定合格者は証明不要。)
 - ウ 卒業証書の写し(又は卒業証明書)及び特別履修証明書＊
 - エ 修了証書の写し又は修了証明書
 - オ 技能照査合格証書の写し又は合格証明書
 - カ 1級・単一等級技能検定合格証書の写し

*免許職種に係る学科の履修確認を行うための書類です(大学等の証明が必要になります。)。様式については、香川県労働政策課(087-832-3367)までお問い合わせください。

(3) 記入上の注意

- ・ 記入は、ボールペンを用い、楷書と算用数字でいねいに記入してください。
- ・ 免許職種は別表2「職業訓練指導員免許職種」、技能検定職種と免許職種の対応については別表3「技能検定職種と職業訓練指導員免許職種の対応表」を参照してください。
- ・ 職歴は、これまでの職歴を最近のものから順に記入してください。

職務内容欄は、できるだけ具体的に記入してください。この内容の審査により受講資格が判定されます。

学歴、訓練歴、職歴等は受講資格の判定資料となるので、事実と相違することのないよう正しい正確に記入して下さい。なお、上記7（2）に不備がある場合は受付できません。

また、記入事項に不正があった場合は、免許を取消すことがあります。

(4) 受講申込書・職歴証明書に必要事項を記入、証明書等を添付して原則として本人もしくは内容のわかる方が持参してください。受講料は、お申込みの際にお支払いください。

(5) 職業訓練指導員免許の交付申請には、職業訓練指導員免許手数料として香川県使用料・手数料条例により2,300円の手数料が別途必要です。

8. お申込・お問合せ先

香川県職業能力開発協会

〒761-8031 高松市郷東町587-1 地域職業訓練センター内
電話(087)882-2854 / F A X (087)882-2962

「受講資格及び提出書類一覧表」

別表 1

番号	受 講 資 格	実務経験 年 数	提出書類＊ (詳細は「7.受講の 手続き」(2)参照)					
			ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	技能検定合格者（1級又は単一等級）（電子回路接続・バルコニー施工は除く。）	—	○					○
2	大学卒業者（免許職種に係る学科を履修）	2	○	○	○			
3	外国の大学卒業者（免許職種に係る学科を履修）	2	○	○	○			
4	短大・高専卒業者（免許職種に係る学科を履修）	4	○	○	○			
5	高等学校卒業者（免許職種に係る学科を履修）	7	○	○	○			
6	高度職業訓練（応用課程・特定応用課程・特定専門課程）の技能照査合格者	1	○	○		○	○	
7	専門課程の高度職業訓練（養成訓練）の技能照査合格者	3	○	○		○	○	
8	専門課程の高度職業訓練（養成訓練）の修了者	4	○	○		○		
9	普通課程の普通職業訓練（養成訓練）の技能照査合格者	6	○	○		○	○	
10	普通課程（規則※1別表第2）の普通職業訓練（養成訓練）の修了者	7	○	○		○		
11	短期課程（規則別表第4の700時間以上）の普通職業訓練の修了者	10	○	○		○		
12	専修訓練課程の養成訓練の修了者	10	○	○		○		
13	旧法※2の認定職業訓練（3年課程）及び労働基準法の技能者養成の修了者	7	○	○		○		
14	旧法の専門的職業訓練（2年課程で訓練時間が3600時間）及び認定職業訓練（2年課程）の修了者	8	○	○		○		
15	旧法の職業訓練（1年課程で訓練時間が1800時間）及び公共職業補導所（1年課程で訓練時間が1824時間）の修了者	10	○	○		○		
16	旧総合職業補導所（1年課程で訓練時間が1824時間）の修了者	10	○	○		○		
17	家事サービス職業訓練担当者	—	○	○				
18	旧規則※3の特別高等訓練課程の養成訓練の技能照査合格者	3	○	○		○	○	
19	旧規則の特別高等訓練課程の養成訓練の修了者	4	○	○		○		
20	旧規則の高等訓練課程の養成訓練の技能照査合格者	6	○	○		○	○	
21	旧規則の高等訓練課程の養成訓練の修了者	7	○	○		○		
22	旧規則の専修訓練課程の養成訓練の修了者	10	○	○		○		
＊ア…受講申込書、イ…職歴証明書、ウ…卒業証書の写し（又は卒業証明書）及び特別履修証明書、エ…修了証書の写し又は修了証明書、オ…技能照査合格証書の写し又は合格証明書、カ…1級・単一等級技能検定合格書の写し								

(※1)職業能力開発促進法施行規則、(※2)昭和33年職業訓練法

(※3)訓練法規則(昭和60年改正前職業訓練法施行規則)

「職業訓練指導員免許職種」

(123職種)

系	免 許 職 種	系	免 許 職 種
園芸サービス	園芸 造園	建築施工	建築 枠組壁建築 とび 建設 プレハブ建築
森林	森林環境保全		
金属材料	鉄鋼 鋳造 鍛造 熱処理	建築外装	屋根 スレート 建築板金 防水 サッシ・ガラス施工
	塑性加工 溶接 構造物鉄工		
金属加工	金属表面処理	建築内装	畳 インテリア 床仕上げ 表具
金属表面処理	機械		左官・タイル 築炉 ブロック建築 熱絶縁
電気・電子	電子 電気 コンピュータ制御	建築仕上	
電力	発電電 送配電 電気工事		
第1種自動車	自動車製造 自動車整備	設備施工	冷凍空調機器 配管 住宅設備機器
第2種自動車	自動車整備 自動車車体整備		
航空機	航空機製造 航空機整備	土木	さく井 土木 測量
鉄道車両	鉄道車両		
船舶	造船	設備管理・運転	建築物設備管理 ボイラー
精密機器	時計 光学ガラス 光学機器 計測機器 理化学機器		クレーン 建設機械運転 港湾荷役
		化学	化学分析 公害検査
製材機械	製材機械		
機械整備	内燃機関 建設機械 農業機械	工芸	木材工芸 竹工芸 漆器 貴金属・宝石 印章彫刻
	縫製機械		
縫製機械	縫製機械	塗装	塗装
製織	織布 織機調整		
染色	染色	デザイン	広告美術 デザイン
アパレル	ニット 洋裁 洋服 縫製		義肢・装具 義肢装具
		通信	電気通信 電話交換 事務 貿易事務
裁縫	和裁 寝具		
帆布製品	帆布製品	流通ビジネス	流通ビジネス
木材加工	木型 木工 工業包装		
		写真	写真
紙加工	紙器		介護サービス
印刷・製本	製版・印刷 製本	理容・美容	理容 美容
プラスチック	プラスチック製品		
レザー加工	レザー加工	接客サービス	ホテル・旅館・レストラン 観光ビジネス
ガラス加工	ガラス		
窯業製品	ほうろう製品 陶磁器	調理	日本料理 中国料理 西洋料理
			臨検検査 フラワー装飾
石材	石材	メカトロニクス	メカトロニクス
食品加工	麺 パン・菓子 食肉 水産物加工 発酵		第1種情報処理 第2種情報処理
			フォークリフト 建築物衛生管理 福祉工学

「職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応表」

免許職種	技能検定職種	免許職種	技能検定職種
建築物設備管理科	ビル設備管理	ガラス科	(ガラス製品製造)
園芸科	園芸装飾	ほうろう製品科	(ほうろう加工)
造園科	造園	陶磁器科	(陶磁器製造)
森林環境保全科		石材科	石材施工、(コンクリート積みブロック施工)
鉄鋼科	金属溶解	麺科	製麺
鑄造科	金属溶解、鑄造、粉末冶金、ダイカスト	パン・菓子科	パン製造、菓子製造
鍛造科	鍛造	食肉科	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
熱処理科	金属熱処理、金属材料試験	水産物加工科	水産練り製品製造
塑性加工科	金属プレス加工、工場板金、鉄工、建築板金	発酵科	みそ製造、酒造
建築板金科	建築板金	建築科	建築大工、枠組壁建築、バルコニー施工、(建築図面製作)、サッシ施工
構造物鉄工科	鉄工	枠組壁建築科	建築大工、枠組壁建築、バルコニー施工、(建築図面製作)
金属表面処理科	めっき、アルミニウム陽極酸化処理	とび科	とび
機械科	機械加工、非接触加工(放電加工)、金型製作、工業彫刻、仕上げ、機械検査、機械保全、油圧装置調整、テクニカルイラストレーション、機械・プラント製図、切削工具研削	建設科	型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工
		屋根科	かわらぶき
		スレート科	(スレート施工)
		防水科	防水施工
電子科	電子回路接続、電子機器組立て、半導体製品製造、自動販売機調整	サッシ・ガラス施工科	カーテンウォール施工、ガラス施工、サッシ施工
電気科	電気機器組立て、自動販売機調整、電気製図、シーケンス制御	畳科	畳製作
		インテリア科	内装仕上げ施工、表装
自動車製造科	内燃機関組立て	床仕上げ科	内装仕上げ施工
鉄道車両科	鉄工、鉄道車両製造・整備	表具科	表装
造船科	鉄工	左官・タイル科	左官、タイル張り
時計科	時計修理	築炉科	(れんが積み)、築炉
光学ガラス科	(眼鏡レンズ加工)、光学機器製造	ブロック建築科	(れんが積み)、ブロック建築、エーデルシーパネル施工
光学機器科	光学機器製造	熱絶縁科	熱絶縁施工
理化学機器科	(家庭用電気治療器調整)	冷凍空調機器科	冷凍空気調和機器施工
製材機械科	切削工具研削、(製材のこ目立て)	配管科	配管、(浴槽設備施工)
内燃機関科	内燃機関組立て	住宅設備機器科	配管、(浴槽設備施工)
建設機械科	建設機械整備	さく井科	さく井、ウエルポイント施工
農業機械科	農業機械整備	土木科	ウエルポイント施工
縫製機械科	縫製機械整備	化学分析科	化学分析
織機調整科	(織機調整)	木材工芸科	(漆器製造)
染色科	染色	竹工芸科	(竹工芸)
ニット科	ニット製品製造	漆器科	(漆器製造)
洋裁科	婦人子供服製造	貴金属・宝石科	貴金属装身具製作
洋服科	紳士服製造	印章彫刻科	印章彫刻
縫製科	布はく縫製	塗装科	塗装、塗料調色
和裁科	和裁	広告美術科	広告美術仕上げ
寝具科	寝具製作	義肢装具科	義肢・装具製作
帆布製品科	帆布製品製造	写真科	写真
木型科	(木型製作)	日本料理科	調理
木工科	機械木工、家具製作、建具製作、(製材のこ目立て)、(木工機械整備)	中国料理科	
工業包装科	工業包装	西洋料理科	
紙器科	紙器・ダンボール箱製造	フラワー装飾科	フラワー装飾
製版・印刷科	プリプレス、印刷	建築物衛生管理科	ビルクリーニング
製本科	製本	メカトロニクス科	電気機器組立て、シーケンス制御
プラスチック製品科	プラスチック成形、強化プラスチック成形		

※ () 書きは、廃止となった検定職種で、職業訓練指導員試験の受験資格に関し経過措置が設けられているもの。
 その他、統合等により、現行職種に合格したものとみなす旨の経過措置が置かれた検定職種がある。

受付番号

職業訓練指導員講習申込書

写 真
4 cm * 3 cm
(裏面に氏名を記入の
うえ貼付けてくださ
い)

職業訓練指導員講習を受講したいので関係書類を添えて申込みします。

香川県職業能力開発協会長 様

令和 年 月 日 氏名

免許職種	
ふりがな	
氏 名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (年齢 才)
住 所	〒 (連絡先電話) (自宅・携帯) (メールアドレス)
<div>・精神の機能の障害により職業訓練指導員の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者に該当する・しない</div> <div>・禁錮以上の刑に処せられたことの有無有 ・ 無</div> <div>・職業訓練指導員免許の取消しを受けたことの有無有 ・ 無</div>	
勤務先の名称及び所在地等	(名称)
	(所在地)
	(電話) (FAX)
	(連絡先部課) (担当者)

職業訓練指導員講習申込に当たって記入いただいた個人情報につきましては、講習及び免許申請に必要な範囲で香川県、当協会で利用いたします。

職 歴 証 明 書

令和 年 月 日現在

ふりがな		電話 () FAX ()
氏 名		
生年月日	昭・平 年 月 日生 (満 才 ヶ月)	
住 所	〒	

学 歴

学 校 名	学部・学科名	所 在 地	在 学 期 間	卒業・中退の別
			年 月~ 年 月	
			年 月~ 年 月	

訓 練 歴

訓 練 校 名	訓練科名	所 在 地	訓 練 期 間	卒業・中退の別
			年 月~ 年 月	
			年 月~ 年 月	

技 能 照 査

訓 練 科	合 格 年 月 日 及 び 番 号
	年 月 日 (第 号)

職 歴(最近のものから記入・記入欄が不足する場合は別紙に記入)

事 業 所 名	地位・職名	所 在 地	在 職 期 間	職 務 内 容 (具体的に記入すること)
			年 月~ 年 月	
			年 月~ 年 月	
			年 月~ 年 月	
			年 月~ 年 月	
			年 月~ 年 月	

上記のとおり相違ありません。

証 明 者	所在地又は住所 団体・事業所の名称 代表者の役職名 氏 名	<div>印</div>
-------------	--	--------------

※職歴ごとに証明者の印が必要となります。職歴（実務経験年数）が1か所で不足する場合は、この用紙をコピーしてください。